

## 第28号議案

「子どもたちが作るローカルマガジン COLOMAGA Project」の後援名義使用承認について

上記の議案を提出する。

令和元年7月11日

提 出 者 文京区教育委員会

教育長 加藤 裕一



別記様式第1号（第6条関係）

文京区教育委員会 共催・後援 名義使用申請書

令和元年 6月 14日

文京区教育委員会 殿

申請者（申請団体）クリエイターチーム カラフル

住所（所在地） 東京都千代田区内神田1-10-8-2F

代表者名 (ふりがな) あさい ゆうごう

浅井 由剛

代表者連絡先 03-5577-3150

(事務担当者) 木村 有花

下記事業を実施するに当たり、文京区教育委員会 ~~共催~~・後援名義を使用したく、申請します。

記

事業名	子どもたちが作るローカルマガジンCOLOMAGA Project	
実施期間	令和元年 7月 20日（土）から 令和2年 3月 31日（火）まで（255日間）	
実施場所	講義は区内公共施設、取材は区内全域の企業・店舗・施設等	
事業内容	目的※	子どもとローカルマガジンを作る一連の活動において、子どもたちの創造性の育成を目的としている。さらに、子どもを中心とした地域活性化の新たなツールとなることを目的としている。
	内容	小学生視点で制作する「MITAMIYO!! Vol.4」と中学生視点で制作する「MITAMIYO!! Teens Vol.2」の一連の制作活動において、クリエイティブの力を養う場を提供すること。
	対象者	小学生版…小学校4～6年生 15人      参加予定人員 合計30人 中学生版…中学校1～3年生 15人      (15人×小中それぞれ)
	参加費	参加費¥3,000（全9回の保険料、資料代、取材体験代等を含む）
他団体の共催、後援等 (申請中、承認済の別)		
備考	今年のCOLOMAGA Projectでは、小学生版「MITAMIYO!! Vol.4」と中学生版「MITAMIYO!! Teens Vol.2」を作ります。	
申請書類一式は、教育委員会会議資料として、HP等で公開いたします。 公開することに <input checked="" type="radio"/> 同意する ・ <input type="radio"/> 同意しない		

※「目的」は、教育委員会が後援するに当たり、「区立幼・小・中の児童・生徒にとって、どのようなメリットがあるのか」という視点で記載してください。

## 収支予算書

事業名                      子どもたちが作るローカルマガジンCOLOMAGA Project

団体名                      クリエイターチーム カラフル

収 入	単 位：円	支 出	単 位：円
子どもゆめ基金助成金 [精算後支払のため交付予定額]	406,000	講師への謝金 (10,000円×3人×8日)	240,000
麒麟福祉財団助成金 [金額確定済み]	300,000	協力者への謝金 (5,000円×5人×9日)	225,000
オラクル有志の会ボランティア基金 [助成申請中]	510,000	講師の交通費 (2,000円×3人×8日)	48,000
参加費@¥3,000×小中学生合計30人 (保険料, 資料代, 取材・体験費等含む)	90,000	協力者の交通費 (2,000円×5人×9日)	90,000
		保険料[社協行事保険] (58円×(15+10人)×33日)	47,850
		施設借用代	20,000
		取材・体験費 ※1	20,000
		印刷費 ※2	480,320
		通信運搬費 ※3	45,410
		雑役務費 ※4	48,800
		備品[文房具・取材道具一式等]	30,000
		その他	10,620
計	1,306,000	計	1,306,000

令和元年6月20日

(備 考)

(※1)飲食店取材の飲食費、体験活動などにかかる費用

項目	単位：円		詳細項目
※2 印刷費	480,320	20,000	参加者募集チラシ[小学生版と中学生版の2種類]
		449,320	ローカルマガジン[小学生版と中学生版の2種類]
		3,000	取材依頼先への資料(150円×20箇所)
		8,000	講座資料等印刷物一式
※3 通信運搬費	45,410	7,650	チラシ郵送(510円×15箇所)
		2,460	参加者へ手紙等(82円×小中学生合計30人)
		20,000	雑誌郵送(1,000円×20箇所)
		10,200	雑誌郵送(510円×20箇所)
		5,100	その他書類の郵送(510円×10回)
※4 雑役務費	48,800	43,200	雑誌校正費[小学生版と中学生版の2種類]
		5,600	銀行手数料(400円×14人)

文京区教育委員会 共催・後援 事業の実施要綱等

事業名 子どもたちが作るローカルマガジンCOLOMAGA Project

団体名 クリエイターチーム カラフル

<p>申請理由</p>	<p>この活動は、子ども（小学校高学年～中学生）が自分たちの視点で地域の情報を発信するローカルマガジンの制作である。一連の活動において、子どもたちの創造性の育成を目的としている。                  地域づくりに創造性が加味することは、これからの社会貢献活動に欠かせない。活動による成果・インパクトは以下と考える。                  (1) 地域と繋がる子どものエンパワーメント：クリエイティブの根幹となる自分の感情と向き合い表現する力を身に着けることで自己肯定感が高まり、地域や社会の中で様々な関係性を築く力を養う。                  (2) 第3次の関係性によるキャリア教育：取材先の地域の方やクリエイティブのプロと交わることにより、社会やキャリアのしくみを知り、将来への具体的なイメージが掴める。                  (3) 子どもを中心とした地域の活性化：地域を子どもが自ら歩き魅力を発信することで、取材先や住民が地域の価値を再発見するなど、ローカルマガジン制作活動が地域活性化の新たなツールとなる。</p>	
<p>小学生版 (MITAMIYO!! Vol.4)</p>	<p>概要</p>	<p>小学生視点で制作する文京区のローカルマガジン。子どもたちはクリエイター（エディター、カメラマン、ライター）からレクチャーを受け、10箇所程度取材を行う。取材後記事にまとめたものをデザイナーが編集し、子どもたちと完成したローカルマガジンを配布</p>
	<p>参加対象</p>	<p>小学校4～6年生</p>
	<p>周知方法</p>	<p>小学校や図書館等にチラシの配布依頼をする。</p>
	<p>取材エリア</p>	<p>小石川エリア</p>
	<p>活動時期</p>	<p>令和元年7月～令和2年1月【別紙「Vol.4活動内容」参照】</p>
	<p>活動場所</p>	<p>講義は区内公共施設、取材は区内全域の企業・店舗・施設等</p>
	<p>発行時期</p>	<p>令和2年1月</p>
<p>中学生版 (MITAMIYO!! Teens Vol.2)</p>	<p>概要</p>	<p>中学生視点で制作する文京区のローカルマガジン。子どもたちはクリエイター（エディター、カメラマン、ライター）からレクチャーを受け、10箇所程度取材を行う。取材後記事にまとめたものをデザイナーが編集し、子どもたちと完成したローカルマガジンを配布</p>
	<p>参加対象</p>	<p>中学1年生～3年生</p>
	<p>周知方法</p>	<p>中学校や図書館等にチラシの配布依頼をする。</p>
	<p>取材エリア</p>	<p>区内全域</p>
	<p>活動時期</p>	<p>令和元年9月～令和2年3月【別紙「Teens Vol.2活動内容」参照】</p>
	<p>活動場所</p>	<p>講義は区内公共施設、取材は区内全域の企業・店舗・施設等</p>
	<p>発行時期</p>	<p>令和2年3月</p>
<p>ローカルマガジンについて</p>	<p>発行数</p>	<p>MITAMIYO!!Vol.4とMITAMIYO!!Teens Vol.2それぞれ5,000部（予定）</p>
	<p>形式</p>	<p>中閉じ冊子、A4サイズ、フルカラー、20ページ</p>
	<p>設置・配布場所（予定）</p>	<p>参加者、取材先、シビックセンター内、フミコム、区立図書館、区立小学校、区内の国立小学校、区内飲食店等協力店舗、区内外協力者、今後更に活動を深めていくための営業用（次回募集の際子どもたちへ配布、取材先への配布、協力者への配布）、他</p>

時期	活動項目	内容	ゴール設定	関係性人数
7/20(土) 第1回 レクチャー	挨拶・団体紹介・その他		☆仲間と仲良くなること ☆自分たちの町・取材する町のことを考えて意識すること ・雰囲気づくり	講師2人 協力者1人
	GOLOMAGAをつくることの意味	活動の意義と創造力育成について(浅井さん)		
	エディターから雑誌の作り方を学ぶ	雑誌作りの一連の流れを学ぶ		
	文京区ってどんなところ?	遭遇設計「地方想生」のカードゲームを使い文京区がどんな場所か考える		
8/4(日) 第2回 レクチャー	概要・その他		☆取材の質を高めること ☆取材が楽しいと思えること ・プロがどんなことに意識して取材しているのか、実践から学ぶ	協力者2人
	ライターから取材の仕方を学ぶ	記事を書くための取材のやり方やどんなことを意識をするのかについて		
	カメラマンから写真の撮り方を学ぶ	友達の写真を撮り合い、撮り方のアドバイスを受ける		
	8月に取材に行く場所を決める	取材先の概要説明を行い希望を取る。1人1箇所		
	取材先のことを知る	取材先ごとにPCを使って調べる。どんなことに注意して見ればいいのか教わる		
8月中旬～下旬 取材第一弾	取材&体験	礪川地域、小石川エリア(3箇所)それぞれ取材先ごとに別日に行う。	☆レクチャーで学んだことを1つでも生かしてみること ☆取材を楽しむ ・取材に行って友達に自慢したいことは何かを考える	講師3人 協力者3人
	取材の振り返り方 書きたいことを決める・担当決め	まずは自分の印象に残ったところを書き出しみんながどんなことを考えているのかシェアする		
	その他移動時間など			
9月 取材の準備	概要・その他		☆取材先を知ったうえで、気になる質問が10個ずつ出ること ・取材への意欲と質を高める	講師1人 協力者3人
	取材第一弾の書く内容をまとめる	取材先ごとに話し合いを行う四段落構成で考えてみる		
	10月に取材に行く場所を決める	取材先の説明を行い希望を取る。1人2箇所程度		
	取材先のことを知る・質問を考える	取材先ごとにPCを使って調べる。		
10月上旬 取材第二弾	取材&体験	礪川地域、小石川エリア(6箇所程度)それぞれ取材先ごとに別日に行う。	☆レクチャーで学んだことを1つでも生かしてみること ☆取材を楽しむ ・取材に行って友達に自慢したいことは何かを考える	協力者5人
	取材の振り返り 書きたいことを決める	まずは自分の印象に残ったところを書き出しみんながどんなことを考えているのかシェアする		
	その他移動時間など			
10月下旬 記事作成	概要・その他		☆書き終わること	講師1人 協力者3人
	ライターから文章の書き方を学ぶ	一段落200文字で書く力		
	書く内容をまとめる	取材先ごとに話し合いを行う四段落構成で考えてみる		
	記事作成(作業)			
11月 第3回 レクチャー	概要・その他		☆クリエイティブの質を高める	協力者1人
	デザイナーから企業広告作りを学ぶ	取材した企業の中から子どもがオリジナルの企業広告を作る		
	技を磨く	内容を要検討		
12月 第4回 レクチャー	概要・その他		☆クリエイティブの質を高める	協力者1人
	誰に雑誌を読んでもらいたいのか	完成後の雑誌の配り方やマーケティングを考える		
	企業コラボor技を磨く	内容を要検討		
1月 完成発表会 雑誌を届ける	概要・その他		☆やりきったと思えること ・次の自信に繋げること	講師3人 協力者3人
	完成発表会	完成したローカルマガジンを見て、活動を振り返り発表準備を行う。会場にて発表		
	会場からの振り返り	保護者・取材先などから感想や子どもたちへ応援メッセージをもらう		
	取材先に届ける	飲食店等の取材先へ雑誌を届ける		

時期	活動項目	内容	ゴール設定	関係性人数
9月 第1回 レクチャー	挨拶・団体紹介・その他		☆仲間と仲良くなること ☆自分たちの町・取材する町のことを考えて意識すること ・雰囲気づくり	講師2人 協力者1人
	COLOMAGAをつくることの意味	活動の意義と創造力育成について (浅井さん)		
	エディターから雑誌の作り方を学ぶ	雑誌作りの一連の流れを学ぶ		
	文京区ってどんなところ？	遭遇設計「地方想生」のカードゲームを使い文京区がどんな場所か考える		
10月 第2回 レクチャー	概要・その他		☆取材先1箇所につき10個ずつ質問が出ること ☆共通のペルソナを考える ・取材への意欲と質を高める	協力者1人
	誰に雑誌を読んでもらいたいのか	ペルソナを決め、完成後の雑誌の配り方やマーケティングを考える		
	取材に行く場所を選定する	取材したい場所を各自調べてきたうえで、その中から取材する場所を決める		
	取材先のことを知る・質問を考える	取材先ごとにPCを使って調べる。		
11月 第3回 レクチャー	概要・その他		☆取材の質を高めること ☆取材が楽しいと思えること ・プロがどんなことに意識して取材しているのか、実践から学ぶ	講師2人 協力者2人
	ライターから取材の仕方を学ぶ	記事を書くための取材のやり方やどんなことを意識するのかについて		
	カメラマンから写真の撮り方を学ぶ	友達の写真を撮り合い、撮り方のアドバイスを受ける		
12月 取材活動	取材&体験	取材・体験活動を10か所程度行う	☆レクチャーで学んだことを1つでも生かしてみること ☆取材を楽しむ ・取材に行き友達に自慢したいことは何かを考える	講師3人 協力者10人
	取材の振り返り 書きたいことを決める	まずは自分の印象に残ったところを書き出しみんながどんなことを考えているのかシェアする		
	その他移動時間など			
1月 記事作成	概要・その他		☆書き終わること	講師1人 協力者5人
	ライターから文章の書き方を学ぶ	一段落200文字で書く力		
	書く内容をまとめる 記事作成(作業)	取材先ごとに話し合いを行う 四段落構成で考えてみる		
2月 編集会議	概要・その他		☆クリエイティブの質を高める	協力者3人
	第一校の共有	子どもの書いた記事を元にデザイナーがレイアウトした第一校について、デザイナーから記事のねらいを聞き学ぶ。		
	良い記事にするためのMTG	伝わる記事にするための工夫を担当デザイナーと考える。		
3月 完成発表会 雑誌を届ける	概要・その他		☆やりきったと思えること ・次の自信に繋げること	講師3人 協力者2人
	完成発表会	完成したローカルマガジンを見て、活動を振り返り発表準備を行う。会場にて発表		
	会場からの振り返り	保護者・取材先などから感想や子どもたちへ応援メッセージをもらう		
	取材先に届ける	飲食店等の取材先へ雑誌を届ける		



制定 平成 24 年 5 月 1 日

改定 平成 31 年 3 月 29 日

## Creator Team COLORFUL 会則

### 第 1 章 総則

(名称)

第 1 条 本会はクリエイターチーム カラフル／英語名 Creator Team COLORFUL (以下「会」という。)と称す。

(事務局および所在地)

第 2 条 会の事務局を東京都千代田区内神田 1 丁目 10 番地 8 号 2 階に置く。

(目的)

第 3 条 会は、主にこれからの未来を担う子ども達に対し、創造力を育み、物を作る楽しみを見出し、世界を舞台に活躍するための潜在力、地方創生の鍵となる問題の発見や活躍を生み出す、「生きる力」「確かな学力」を確実に育成することを目的とする。また年齢や生活環境にとらわれず、手を動かして物を作る楽しみを経験してもらい、創造力を養うことを事業として開催することを目的とする。

(活動内容)

第 4 条 会は、前条の目的を達成するため、以下の活動を行うものとする。

- (1) 創造力に関する啓蒙活動
- (2) 創造力に関する実施活動
- (3) 手を動かして物を作る楽しみを経験する活動
- (4) 食や日本の文化の中に創造性を見出す活動

### 第 2 章 会員及び役員

(会員)

第 5 条 会の会員は、創造力を用いて仕事を行なう者、またはその勉強をしている学生と、創造教育に関心のある者、または創造力を高める訓練をしたい者を対象者とし、会への入会、脱会は妨げないものとする。入会時は入会手続きをする。

(役員を選任)

第6条 本会運営のために、次の役員を置く。

(1) 代表 1名

(2) 副代表 1名

2 代表及び副代表は、会員の中から総会において選任する。

(役員職務)

第7条 代表は、会を代表し、会務を統轄する。

2 副代表は、代表を補佐し、代表に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(役員任期)

第8条 役員任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠により就任した役員任期は、前任者の残任期間とする。

(役員解任)

第9条 会は、会則に違反又は会の目的に反する行為があったと認めるときは、総会の決議により役員を解任することができる。

### 第3章 会の運営

(総会)

第10条 総会は、年1回会長が招集し、その総会において、出席した会員の中から議長を選出する。

2 総会は、次の事項を審議決定する。

(1) 予算、決算に関すること。

(2) 役員選任に関すること。

(3) 会則に関すること。

(4) その他会務運営上必要な事項

3 会長は、必要があると判断した場合、又は会員の要求があった場合、臨時に総会を開催することができる。

4 総会は原則として公開とする。

5 総会の開催は、会員の2分の1以上の出席をもって成立する。ただし、止むを得ないときは、委任状をもって出席にかえることができる。

6 議事は、出席会員の過半数で決する。

(経費)

第 11 条 会の運営に要する経費は、寄附金及びその他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第 12 条 会の会計年度は、毎年 8 月 1 日に始まり翌年 7 月 31 日とする。

第 13 条 本会の設立年月日は、平成 24 年 5 月 1 日とする。

#### 第 4 章 雑則

(細則の制定)

第 14 条 本会則施行のため必要な細則は、総会の議決を経て代表が定める。

(会則の改廃)

第 15 条 この規約の改廃については、総会において 3 分の 2 以上の同意を必要とする。

#### 附 則

- 1 この会則は、平成 24 年 5 月 1 日から施行する。
- 2 会の初年度の会計年度は、第 12 条の規定にかかわらず、会の設立した日から当該年度の 7 月 31 日までとする。

この規約の記載内容について事実と相違ないことを証明します。

東京都千代田区内神田 1-10-8-2F

クリエイターチーム カラフル

代表 浅井由剛

# クリエイターチーム カラフル会員名簿

2019年3月31日  
時点

会員No.	役職	氏名	所属
1	代表	浅井 由剛	株式会社カラーコード
2	副代表	浅井 夏子	株式会社カラーコード
3		爲壮 京子	株式会社カラーコード
4		木村 有花	株式会社カラーコード
5		青山 広平	
6		青山 美咲	株式会社ネオスタンダード
7		村越 リサ	日本大学芸術学部デザイン学科
8		三浦 菜々夏	日本大学芸術学部デザイン学科
9		井手 貴史	日本発条株式会社
10		井手 真理	イデアデンタルクリニック
11		堤 由紀子	株式会社 楓
12		柴田 有紀子	株式会社クイック
13		藤井 将	株式会社パルシステム・リレーションズ
14		高橋 いづみ	特定非営利活動法人NPOサプライズ、
15			
16			
17			
18			
19			
20			

クリエイターチーム カラフル

文京区教育委員会 共催・後援 事業実績一覧

事業名 子どもたちが作るローカルマガジンCOLOMAGA Project

団体名 クリエイターチーム カラフル

ローカル マガジン について	発行数	各3,000部
	形式	中閉じ冊子、A5、フルカラー、32頁（中学生版：28頁）
	設置・ 配布場所	参加者、取材先、シビックセンター内、フミコム、区立図書館、区立小学校、区内の国立小学校、区内飲食店等協力店舗、区内外協力者、今後更に活動を深めていくための営業用（次回募集の際子どもたちへ配布、取材先への配布、協力者への配布）、他
小学生版 1年目 「MITAMIYO!! Vol.1」	参加者	小学校4～6年生、20人
	取材先	茗荷谷駅周辺、17箇所
	活動時期	平成29年1月～3月
	発行時期	平成29年3月
	助成金	子どもゆめ基金：358,000円
	後援	なし
小学生版 2年目 「MITAMIYO!! Vol.2」	参加者	小学校4～6年生、19人
	取材先	関口・音羽エリア、12箇所
	活動時期	平成29年年8月～平成29年11月
	発行時期	平成29年10月
	助成金	子どもゆめ基金：379,000円
	後援	文京区（アカデミー推進課）
小学生版 3年目 「MITAMIYO!! Vol.3」	参加者	小学校4～6年生、13人
	取材先	本郷エリア
	活動時期	平成30年8月～平成31年1月
	発行時期	平成31年1月
	助成金	子どもゆめ基金：250,365円
	後援	文京区（アカデミー推進課）
中学生版 1年目 「MITAMIYO!! Teens Vol.1」	参加者	中学1年生～3年生、24人
	取材先	区内全域、9箇所
	活動時期	平成30年12月～平成31年3月
	発行時期	平成31年3月
	助成金	「Bチャレ」助成金：500,000円
	後援	文京区社会福祉協議会

